

労働基準監督署との合同パトロールを実施しました

令和4年7月13日(水)、尾花沢市大字上ノ畑字岩行沢国有林の森林環境保全整備事業実施箇所で、労働基準監督署との合同パトロールを実施しました。

合同パトロールは、労働基準監督署との連携を強化して、当署が発注する諸事業の現場における労働安全確保を期するための取組として毎年行っているものです。

当日は、山形労働局村山労働基準監督署久保田幸信地方産業安全専門官、小野寺智哉労働基準監督官、新庄労働基準監督署森田菜月労働基準監督官に出張いただき、当署署長、総括森林整備官らが同行して、事業の請負者である北村山森林組合、有限会社緑商による作業現場をパトロールしました。

パトロールでは、現場での一連の作業工程等について、現場代理人から説明を受けたあと、伐倒作業の様子を確認しました。その後、小野寺労働基準監督官から、一連の作業に当たっての注意点のほか、猛暑の季節を迎える中、身体が環境に馴化するリズムを踏まえた体調管理にも注意が必要との講評をいただいて終了しました。

本現場をはじめ、すべての現場で無事無災害で作業を完了できるよう、当署では、引き続き、労働基準監督署との連携を強化しながら、請負事業体の労働災害の防止に努めてまいります。

